

14

2180

陸軍省 未定書体

人事 秘密

第十二号經由

第十一人焦第365號  
昭和十七年十月四日

核制人第九六号

陸支普受第1059

戰時陸軍報告規程事務報告標

昭和十七年十月三日 第五十九師團司令部

樣式番號

表

名

摘

附表戰第四表

特別報告(軍紀犯)

一通

陸軍大臣官署  
17.10.20  
受計

昭和十七年十月十四日  
第323號

陸軍省  
17.10.13  
防衛課

17.10.12

陸軍省  
17.10.12  
受計  
兵務課

兵器竊盜犯罪ニ關スル特別報告

一 盜難場所

第十一軍野戰兵器廠武昌倉庫

二月日時

昭和十六年十月二十日ヨリ昭和十七年六月三十日ニ至ル間

三 狀況

(一) 武昌倉庫砲具金物係ノ [redacted] 伍長ハ昭和十

七年六月三十日自己所管物品ノ工作用ドリ  
此徑消耗以下ノモノ九種合計四千四百六十  
七本ノ不足シアルヲ發見シ主任將校間宮少

(二)

尉ニ報告ス同少尉ハ直ニ再検査セル結果同  
 様ノ不足アルヲ確認シ其ノ調査ヲ開始シ其  
 ノ旨ヲ倉庫長泊中尉ニ報告ス

七月二十二日再ヒ

伍長ハ前記<sup>1</sup>ドリル

カ別ニ二百本紛失シアル旨報告セルヲ以テ  
 倉庫長ハ各種調査ノ結果 [ ] 伍長ノ舉動  
 ニ不審ノ點ヲ發見シ之ヲ監視中同日二十三  
 時頃同人ハ自室ニテ銃剣ヲ以テ自殺セント  
 企テタルヲ以テ益々本人ニ對スル嫌疑ヲ深  
 メ且ツ外部トノ關係アルヲ覺リ前記狀況ヲ

(三)

廠長ニ報告シ其ノ指示ヲ受ケ之ヲ憲兵隊ニ  
 留置スルト共ニ其ノ調査ノ援助方ヲ依頼ス  
 再度調査ノ結果 [redacted] 伍長ハドリル盗難ニ  
 關係ナクドリルノ紛失ハ傭役苦力及外部支  
 那人カ結托シテ竊盜シアルノ嫌疑濃厚ナル  
 ヲ以テ更ニ該方面ニ調査ヲ進メ曰ヨ經ルコ  
 ト約一ヶ月ニシテ苦力頭(逃亡ス)カ手下小孩  
 苦力ヲ使用シ數回ニ互リ約四百本ノドリル  
 ヲ持テ出シアルヲ知りタル外自餘ハ全然不  
 明トナリ一方憲兵隊カ [redacted] 伍長ニ對シ一

(四)  
 時調査ヲ打テ切ラントセシモ倉庫長ハ廠長  
 ノ旨ヲ受テ尚ホドリル大部分ノ行方不明ナ  
 ルト且ツ [REDACTED] 伍長ノ態度ニ如何ニモ不審  
 ナル點アルヨリ依然調査ノ續行セラレ度旨  
 要求セリ  
 茲ニ於テ武昌憲兵隊ハ更ニ其ノ調査ヲ強行  
 セル所八月二十一日ノ夕遂ニドリルノ紛失  
 ニ關シテハ全然知悉セサルモ押收輕機四拳  
 銃七及其ノ他ヲ地方人ニ賣却セル旨自白ス  
 以上ノ事實ハ事重大ナルト本事件カ他部隊

(五) 及民間ニ波及シアルモノト推定セラルルニ  
 鑑ミ徹底的ニ捜査ノ必要ヲ感シ同日改メテ  
 憲兵隊ニ對シ其ノ捜査方ヲ依囑ス  
 憲兵隊ノ捜査ノ結果左記ノ如ク犯罪ノ事實  
 明瞭トナル

左記

一昭和十六年十二月中旬被告  
 當時武昌倉庫銃器掛下士官タル被告  
 伍長ヲ訪テ不足補填ニ藉口シ廢品小被覆  
 線二十五卷(二千米)ヲ騙取シ之ヲ武昌倉庫

運轉手被告 [redacted] 上等兵ヲシテ搬出セシメ

軍特務部武昌分室勤務ノ軍屬被告 [redacted]

[redacted] 二意ヲ含メテ武昌市内ノ商人ニ三百圓

ニテ賣却セシメ [redacted] ニハ運搬代償トシテ

七拾圓ヲ松本ニハ周旋料トシテ壹百圓ヲ

手交ス又右不正事實ヲ現誌シアル武昌倉

庫服務被告 [redacted] 軍曹ニ參拾圓ヲ手交ス

二 昭和十七年一月初旬被告 [redacted] 伍長ハ現

地除隊者タル被告 [redacted] ノ勸誘ヲ受リ

ルヤ金惣ヲ割シ得ス同年二月中旬ヨリ四

月下旬ニ至ル間ニ於テ前後五回ニ互リ押  
 收チエツク輕機四回彈藥五百發押收拳銃四  
 挺同彈藥約二百發ヲ被告 [redacted] 伍長ヲ教唆  
 シテ之ヲ取得シ被告 [redacted] 軍曹及武昌倉庫  
 服勞被告 [redacted] 軍曹ト相計リ秘カニ在漢口  
 被告 [redacted] 良三ノ住所ニ運ヒ同人ヨリ代金  
 トシテ軍票三千八拾圓ヲ受領シ内壹千六  
 百六拾圓ヲ [redacted] ニ分配シ殘餘壹千四  
 百貳拾圓ヲ [redacted] カ領得ス  
 三、右ノ外此ノ間被告 [redacted] 伍長ハ被告 [redacted]



ヨリ提供セシメシ押収拳銃及同僚間ヨリ  
 蒐集セル押収拳銃ノ内四挺ヲ被告  
 [redacted] (軍屬)ニ贈與若クハ貸與シ又被告  
 [redacted] 曹ヲカシ所屬部隊及氏名不詳ノ一軍屬ニ  
 一挺ヲ賣却シテ百貳拾圓ノ代價ヲ得被告  
 [redacted] ヨリ前後十回ニ互リ約百圓ノ饗應ヲ  
 受テ取得セル金銭ハ被告 [redacted] 及 [redacted]  
 テ折半分配ス

四 昭和十七年五月及六月ノ二回ニ互リ被服  
 [redacted] 伍長ハ倉庫員數整理ヲ名目トシテ

武昌工場服務阿部軍曹ヨリ押收工作用ド  
 リ此約三十押收電機、ガライソダ一同工場  
 服務 [ ] 軍曹ヨリ押收廢品拳銃一ヲ騙取  
 シ之ヲ [ ] ニ賣却方ヲ依頼セリ本件ニ關  
 シテハ [ ] 兩軍曹ハ何等其ノ情ヲ知  
 ラス又報酬ヲ受ケアラサルモノナリ又被  
 告 [ ] ハ武昌倉庫銃器掛タル被告 [ ]  
 軍曹ヲ甘言ヲ以テ勧誘シ提供セシメタル  
 押收チエツエ式輕機一挺ヲ取得賣却セント  
 シテ隱匿中檢舉セラレタルモノナリ

五 各被告ノ犯行ニ依リ取得シタル金額合計

參千貳百八拾圓ニシテ其ノ使途上ノ如シ

1.

伍長ハ領得金壹千六百五拾圓ノ

内壹千圓ハ被告

カ本年五月内

地歸還ノ節留守宅ニ委託送金シ參百圓

ヲ在漢口馴染女給ニ預托シ殘金ハ遊興

ニ費消ス

2.

伍長ハ合計四百六拾圓ヲ收受シ昭

和十六年十二月以來悉ク外出時ノ飲食

遊興等ニ費消ス

3.

軍曹ハ所得合計七百九拾圓ニシテ  
内壹百貳拾五圓ヲ黨科治療其ノ他ニ費

消ス

4.

軍曹ハ合計二百五拾圓ヲ取得シ内

七拾五圓ヲ殘シ他ハ悉ク費消ス

5.

軍曹受領金ナシ

6.

上等兵ハ七拾圓ヲ受領シ飲食ニ費

消ス

六 工具用ドリル四千六百七十本ノ盜難事件

ニ關シテハ其ノ一部ハ犯人苦力ノ檢擧ニ

四原

依り没收セラルモ其ノ他ハ主犯タル苦力頭  
及其ノ連類者逃亡中ニテ未タ縛ニ就カサ  
ルヲ以テ憲兵隊ニテ引續キ極力調査中ナ  
リ

一犯

伍長及

軍曹ハ現地満期ヲ希

望シ居リテ満期後ノ資金ヲ得ントシアリシ  
折隅々豫テ面識アル現地満期兵  
ルモノ、指囃ニ依リ盲目的ニ犯罪ヲ犯スニ  
至リ其ノ他ノ者モ物慾ニ驅ラレ深キ考モナ

- (一) 前者ノ言ニ從ヒ之ニ加擔セルモノナリ  
 盜難兵器ハ第一次長沙作戰終了ノ際各部隊  
 ヨリノ多數ノ返納押收兵器及爾後各隊ヨリ  
 ノ返納品ノ内ヨリ返納証票ニ記載漏ノモノ  
 或ハ返納証票ナキ兵器ヨリ前記兵器ヲ逐次  
 蒐集シ之ヲ隱匿シ置キ兵器輸送時機ヲ利用  
 シテ之ヲ數回ニ互リ構外ニ持テ出シ賣却シ  
 タルモノナリ
- (二) 工作用ドリルハ倉庫備役ノ少年苦力カ苦力  
 頭ノ指喉ニ依リ兵ノ監視ノ隙ヲ盜ミ少量宛

數回ニ互リ腋下ニ隱匿シ出門ノ際ノ検査ノ  
 眼ヲ潜リ構外ニ持テ出シ或ハ掃除ノ際塵埃  
 ト共ニ掃キ出シ柵外ニ搬出セルモノナリ  
 五 被害物品及其ノ價格

(一) 押収子エツコ輕機 四 價格七百貳拾圓 (沒收可能見込)

(二) 押収拳銃 六 價格約百貳拾圓 (全部沒收可能見込)  
(外ニ按ハ沒收ス)

(三) 押収「グラインダー」 一

(四) 押収鉄工用「ドリル」(一時) 三十本  
 (沒收濟)

(五) 携行工具用「ドリル」(五種類) 四百六十七本 (復内百箇邊還濟) 價格四千五百圓

(六) 小被覆線(廢品) 二十五卷(二千米) 價格四拾圓

合計 五千零百八拾圓

但シ押收輕機及拳銃ニ擬除クハ全部賣却先  
明瞭ナルニ依リ回收シ得ル見込ナリ

### 六處 置

- (一) 部隊長ハ前記ノ如ク材料紛失ノ事實ヲ知り  
タルヲ以テ之カ徹底調査ヲ企圖シ武昌倉庫  
長ヲシテ [redacted] 伍長ノ身柄ヲ憲兵隊ニ留置  
シ且ツ事件カ外部ト關連スルヲ以テ調査方  
ノ援助ヲ武昌憲兵隊ニ依頼ス
- (二) 然ルニ犯人 [redacted] 伍長カ材料紛失ニハ何等



關係ナク別ニ輕機及拳銃ヲ外部ニ賣却セル旨自白セルニ依リ事ノ重大ナルト本犯罪ハ外部ニ關係スルコト大ナルヲ認メ改メテ武昌憲兵隊ニ之ヲ搜查方ヲ依頼ス

(三) 又廠ハ八月二十六日命令ヲ以テ臨時兵器検査班(佐官以下將校三下士官四)ヲ成ルヲ編成シ先ツ武昌地區ヨリ次ニ漢口地區ニ互リ全面的ニ主要兵器ノ員數検査ヲ實施シ目下尚實施中ナリ

今日迄ノ成果ニ依レハ帳簿ト現品ニ若干ノ

差異アルモノヲ發見セルモ概シテ現品保管  
數ハ帳簿數ニ一致シアルヲ認ム

(四)

廠ハ昨年来兵器軍紀確立ニ關シ特ニ努力シ  
來ル處ナルモ本事件發生ニ鑑ミ更ニ將校以  
下全員ニ對シ兵器出納ノ確實及犯罪防止ニ  
關シ訓戒ヲ與ヘ又訓示ニ參集セサル場所ニ  
對シテハ本部佐官ヲ派遣シ逐次非違防止及  
職域奉公ノ完璧ニ就テ訓話ヲ行ハシメ惡風  
ノ一掃ニ努力ス

七、責任者ノ處分

0835

八其川

(一)

輕謹嶺三日

由 由 由

第十一軍野戰兵器廠長  
陸軍大佐 島貫嘉昌  
(處罰官 第十一軍司令官)

其ノ他必要ナル事項

(一) 犯人ノ所屬及官等級氏名

第十一軍野戦兵器廠武昌倉庫附 陸軍兵技伍長

同 陸軍軍曹



重謹慎三日

第十一軍野戦兵器廠武昌倉庫長

陸軍兵技中尉

泊

重志

重謹慎三日

同

陸軍少尉

南

和夫

重謹慎三日

同

武昌倉庫器材掛

陸軍兵技中尉

間宮

啓一

重謹慎二日

同

武昌工場長

陸軍兵技中尉

青木

清

同

陸軍兵校軍曹

同

陸軍兵校軍曹

獨立工兵第五十六大隊附(元當殿武昌倉庫附) 陸軍兵校伍長

第土軍野戰兵器廠武昌倉庫所屬 陸軍上等兵

軍 特務部 所屬 陸軍軍屬

以上、外地方人一名及中國人二名本件ニ共

謀シアルモ之ヲ略ス

(二) 本事件ノ共謀者ニアラサルモ之ニ關係セル

モノヲ左ノ如ク處分ス(但シ廣水出張所附下士官ハ本件ニ關

係アルカ如キモ調査未了ニ付追テ審議ノ上處斷ス)



重 謹 慎 十 五 日

重 謹 慎 五 日

第 十 一 軍 野 戰 兵 器 廠 武 昌 工 場 附

陸 軍 兵 技 軍 曹

武 昌 工 場 附

陸 軍 兵 技 軍 曹

陸軍

特別報告(軍紀犯)

一 違犯者ノ所屬隊官氏名

獨歩兵第四十六隊第五中隊 陸軍曹長

一 發生年月日時

昭和十七年八月十四日十六時頃

一 違犯事項ノ概要

八月十四日所屬中隊前渡金並俸給受領シタ東昌駐屯大隊本部ニ出向スルヲ奇貨トシ逃亡ヲ決意シ同日九時頃在堂邑縣城所屬中隊ヲ出發逃亡シ縣警備隊華人當番兵坊學生(當十九才)ト共ニ自轉車ニテ德縣ヲ經テ列車ニヨリ北京特別市外南郊馬家鋪村ニ至リ同村長宅ヲ訪問指泊スバク交渉中南郊警察分局員(華警)ヲ發見スル所トナリ八月十七日二十二時二十分頃外城憲兵隊派遣所ニ留置セラル

## 一、原

因

尚堂邑縣城出發後土匪ノ襲撃ヲ受ケ行方不明トナリ  
 タル如ク装フベク方學生ノ所持セル小銃ヲニ發々砲シ且  
 自己携行ノ九一式曳火手榴彈一發ヲ投擲セリ。

## 一、動

機

本人ハ日頃ヨリ支那側武装團體ノ指導官タルヲ切望  
 シアリタルモ其ノ期ヲ得ザリシタメ姑息ノ手段ヲ弄シ時  
 自巳ヲ掩蔽潜行セントシタルニ因ル

## 一、處

置

堂邑縣警備隊指導官タリシ頃其ノ指導適切ナラサルヲ  
 以テ被免セラレタルモ尚支那軍指導ヲ志望シアリタルトコ  
 偶々東昌ニ出張ヲ命セラレタルヲ好機トシテ逃亡ヲ決行  
 シタルモノナリ

東昌大隊本部ニ出張セシメタルモ歸隊スベキ日時ニ

(新谷興・京東)



陸

軍

歸隊セザルヲ以テ關係箇所ヲ問合セ搜索中北京

裏兵隊ニテ留置取調ハ中ナル旨通報ヲ受ク

一 責任者ノ處分 ナシ

一 其ノ他必要ナル事項

本人ハ平素温順ナルモ縣警備隊指導官トシテ服

務中故ナク大隊府及縣警言ノ一部ヲ武装解除

セル等常軌ヲ逸シタル舉動アリ